



## 2023年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社エル・ティー・エス  
コード番号 6560 URL <https://lt-s.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樺島弘明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 グループ経営推進室長 (氏名) 李 成一

TEL 03-6897-6140

四半期報告書提出予定日 2023年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	5,506	18.5	395	12.6	462	32.5	316	32.2
2022年12月期第2四半期	4,648	33.8	351	28.2	348	34.6	239	43.7

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 317百万円 (30.0%) 2022年12月期第2四半期 244百万円 (48.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	70.37	68.14
2022年12月期第2四半期	57.86	55.44

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	5,834	3,594	60.7
2022年12月期	5,595	3,249	57.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 3,540百万円 2022年12月期 3,218百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		0.00		0.00	0.00
2023年12月期		0.00			
2023年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,700	31.8	950	89.6	900	84.0	560	141.4	124.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期2Q	4,515,375 株	2022年12月期	4,495,375 株
期末自己株式数	2023年12月期2Q	株	2022年12月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期2Q	4,504,215 株	2022年12月期2Q	4,145,551 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年1月1日~2023年6月30日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響は残りながらも、経済活動の正常化が進み、個人消費や設備投資は持ち直しの動きが見られました。一方、地政学的リスクの長期化や世界的な物価上昇とそれを受けた金融引き締めが続いており、世界経済の先行きには、依然として不透明感が漂う状況が続いております。

当社グループの主たる事業領域である情報サービス産業においては、社会環境の変化に対応するためのデジタルトランスフォーメーション(DX)への取り組みが本格化しております。AI、RPA(Robotic Process Automation)等の業務ロボット導入やテレワーク推進等の働き方改革など、社内における変革活動を側面支援するサービスへのニーズも高まっており、多様化するプロジェクト支援に関する需要も底堅く推移いたしました。

このような経営環境のもと、当社グループは、個々の変革プロジェクトを支援するだけでなく、変化に対応し未来を切り拓ける人・事業・組織を創るパートナーとして、コンサルティングの枠組みを越えるサービスで顧客の変革を実行支援する「デジタル時代のベストパートナー」を目指し、顧客の現場に入り込み、顧客の課題や変革テーマに応じた各種支援をワンストップで提供するプロフェッショナルサービス事業及び企業のIT人材不足を解消するプラットフォーム事業を展開してまいりました。プロフェッショナルサービス事業では、積極的な人材採用及び育成活動を継続し、安定的なサービス提供能力の拡大に向けた取り組みを推進いたしました。プラットフォーム事業では、既存サービスである「アサインナビ」及び「コンサルタントジョブ」に加え、IT企業の成長と連携を促進する「グロースカンパニークラブ」の積極展開を推進しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高5,506,727千円(前年同期比18.5%増)、営業利益395,901千円(前年同期比12.6%増)、経常利益462,145千円(前年同期比32.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益316,982千円(前年同期比32.2%増)となりました。

セグメントごとの経営成績(売上高には内部売上高を含む)は、次のとおりです。

#### (プロフェッショナルサービス事業)

プロフェッショナルサービス事業では、コロナ禍で制約されていた企業活動の正常化が進み、IT部門を取り巻く環境も変化していく中で、旺盛なDXに関するニーズが追い風となり、ビジネスプロセスマネジメントを活用した業務の可視化・改善を強みとする従来型のコンサルティング案件(業務分析・設計、IT導入支援・現場展開)の受注は、堅調に推移いたしました。昨年度、資本業務提携したFPTジャパンホールディングス株式会社及び横河デジタル株式会社との協業やデータアナリティクス&AIサービス領域での株式会社ビジー・ビーとの協業に積極的に取り組むとともに、「洪水ハザードマップと人工衛星データ・AI技術を用いたサプライチェーンの影響可視化サービス」の第9回洪水管理国際会議(ICFM9)への出展、静岡県・広島県・群馬県における事例を通じた、自治体・地域のDX・SX(サステナビリティ・トランスフォーメーション)につながる活動等、外部への情報発信も推進しました。

この結果、プロフェッショナルサービス事業の売上高は、4,930,612千円(前年同期比20.9%増)、セグメント利益(営業利益)は381,808千円(前年同期比19.7%増)となりました。

#### (プラットフォーム事業)

プラットフォーム事業では、IT業界に特化した、ビジネスマッチングと学びの場を提供するプラットフォームである「アサインナビ」の会員数は、2023年6月30日現在で法人・個人を合わせ13,085会員(前期末比591会員の増加)となり、順調に成長を続けております。会員基盤の拡大に伴い、「アサインナビ」及び「コンサルタントジョブ」によるマッチングや会員向けサービスの実績も増加し、売上高は堅調に推移しました。一方、自社・顧客・IT業界の成長を目指すIT企業向けの会員制コミュニティとして立ち上げた「グロースカンパニークラブ」では、業容拡大及び収益化に向けたマーケティング活動を積極化し、既存サービスの収益拡大に耐えうる組織体制の強化も推進しました。

この結果、プラットフォーム事業の売上高は、934,915千円(前年同期比18.8%増)、セグメント利益(営業利益)は14,092千円(前年同期比56.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は5,834,832千円となり、前連結会計年度末に比べ239,107千円増加しました。これは、現金及び預金が1,129,200千円減少したものの、有価証券が1,200,000千円、売掛金及び契約資産が147,126千円増加したことによるものであります。

負債は2,240,142千円となり、前連結会計年度末に比べ106,173千円減少しました。これは、未払法人税等が92,846千円増加したものの、長期借入金が142,716千円、未払金が115,507千円、賞与引当金が24,883千円減少したことによるものであります。

純資産は3,594,689千円となり、前連結会計年度末に比べ345,281千円増加しました。これは、主に利益剰余金が316,982千円増加したことによるものであります。自己資本比率は、60.7%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、2023年2月10日に決算短信で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,982,895	1,853,694
電子記録債権	133,082	129,716
売掛金及び契約資産	1,384,481	1,531,608
有価証券	—	1,200,000
仕掛品	22,497	16,966
貸倒引当金	△1,837	△1,970
その他	94,197	135,140
流動資産合計	4,615,316	4,865,156
固定資産		
有形固定資産	272,728	267,727
無形固定資産		
のれん	100,291	79,919
ソフトウェア	466	206
ソフトウェア仮勘定	2,423	15,254
無形固定資産合計	103,180	95,380
投資その他の資産		
繰延税金資産	176,091	162,679
敷金及び保証金	206,003	148,859
投資有価証券	163,724	235,522
その他	58,679	59,506
投資その他の資産合計	604,498	606,568
固定資産合計	980,407	969,675
資産合計	5,595,724	5,834,832

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	780,447	787,764
1年内返済予定の長期借入金	273,456	265,820
未払金	394,798	279,291
未払法人税等	60,620	153,466
賞与引当金	111,496	86,612
役員賞与引当金	4,950	—
受注損失引当金	—	13,818
契約負債	20,224	20,671
その他	182,633	240,472
流動負債合計	1,828,626	1,847,917
固定負債		
長期借入金	408,760	273,680
退職給付に係る負債	107,041	116,655
繰延税金負債	539	539
その他	1,349	1,349
固定負債合計	517,689	392,224
負債合計	2,346,316	2,240,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	728,090	730,590
資本剰余金	978,992	981,492
利益剰余金	1,510,195	1,827,178
株主資本合計	3,217,278	3,539,261
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	891	1,139
その他の包括利益累計額合計	891	1,139
新株予約権	26,386	48,951
非支配株主持分	4,851	5,337
純資産合計	3,249,408	3,594,689
負債純資産合計	5,595,724	5,834,832

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
売上高	4,648,735	5,506,727
売上原価	3,069,824	3,568,719
売上総利益	1,578,911	1,938,007
販売費及び一般管理費	1,227,365	1,542,105
営業利益	351,545	395,901
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	1,800	1,925
保険解約返戻金	12	5
助成金収入	—	12,815
持分法による投資利益	—	51,797
その他	296	1,811
営業外収益合計	2,119	68,364
営業外費用		
支払利息	2,732	1,869
為替差損	489	238
自己株式取得費用	1,499	—
その他	249	13
営業外費用合計	4,970	2,121
経常利益	348,694	462,145
税金等調整前四半期純利益	348,694	462,145
法人税、住民税及び事業税	57,348	131,264
法人税等調整額	47,371	13,412
法人税等合計	104,720	144,676
四半期純利益	243,973	317,468
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,126	485
親会社株主に帰属する四半期純利益	239,847	316,982



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	243,973	317,468
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	508	247
その他の包括利益合計	508	247
四半期包括利益	244,482	317,715
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	240,355	317,229
非支配株主に係る四半期包括利益	4,126	485

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、ストック・オプションとしての新株予約権の権利行使により、資本金が2,500千円、資本準備金が2,500千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が730,590千円、資本剰余金が981,492千円となっております。

(会計方針の変更)

当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<p>(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)</p> <p>「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。</p>

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<p>(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)</p> <p>当社及び一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。</p>

(セグメント情報等)

当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	プロフェッショナルサービス事業	プラットフォーム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,908,752	597,974	5,506,727	—	5,506,727
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,860	336,941	358,801	△358,801	—
計	4,930,612	934,915	5,865,528	△358,801	5,506,727
セグメント利益	381,808	14,092	395,901	—	395,901

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	プロフェッショナルサービス事業	プラットフォーム事業	
Business Process & Technology	4,441,929	—	4,441,929
Strategy & Innovation	416,474	—	416,474
Social & Public	50,348	—	50,348
アサインナビ	—	28,967	28,967
コンサルタントジョブ	—	566,727	566,727
グロースカンパニークラブ	—	2,280	2,280
顧客との契約から生じる収益	4,908,752	597,974	5,506,727
外部顧客への売上高	4,908,752	597,974	5,506,727

(注) 更なる事業成長に向けてサービスドメインの再定義を行ったことに伴い、第1四半期連結会計期間より、顧客との契約から生じる収益を分解した情報の表示方法を変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間の顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、当該変更後の区分に基づき作成したものを記載しております。変更後の区分は、下記のとおりであります。

新区分	新区分の詳細(主なサービス)	旧区分
Business Process & Technology	データアナリティクス&AI、ビジネスプロセス&オペレーション、デジタルトランスフォーメーション、ITサービスマネジメント	ビジネスプロセスマネジメント、コンサルティング/エンジニアリング、戦略策定/デジタル活用
Strategy & Innovation	事業戦略、経営管理、経営変革・組織戦略	ビジネスプロセスマネジメント、コンサルティング/エンジニアリング、戦略策定/デジタル活用
Social & Public	ソーシャル・デベロップメント、パブリック・プライベート・パートナーシップ、サステナブル・トランスフォーメーション	コンサルティング/エンジニアリング
アサインナビ	案件/プロフェッショナル/IT企業のマッチング	アサインナビ
コンサルタントジョブ	フリーコンサルタント活躍支援	コンサルタントジョブ
グロースカンパニークラブ	成長IT企業コミュニティ、事例メディア、CSサーベイ	CS Clip

(重要な後発事象)

多額な資金の借入

当社は、2023年7月27日開催の取締役会にて資金の借入を行う事を決議し、借入を実行いたしました。

(1) 長期借入金

資金使途：運転資金  
借入先：株式会社三菱UFJ銀行  
借入金額：400,000千円  
借入金利：固定金利  
借入実行日：2023年7月31日  
借入期間：5年  
担保の有無：なし

(2) 長期借入金

資金使途：運転資金  
借入先：株式会社りそな銀行  
借入金額：400,000千円  
借入金利：変動金利  
借入実行日：2023年7月31日  
借入期間：5年  
担保の有無：なし

(3) 長期借入金

資金使途：運転資金  
借入先：株式会社三井住友銀行  
借入金額：400,000千円  
借入金利：変動金利  
借入実行日：2023年8月10日  
借入期間：5年  
担保の有無：なし

(4) 長期借入金

資金使途：運転資金  
借入先：株式会社みずほ銀行  
借入金額：400,000千円  
借入金利：変動金利  
借入実行日：2023年8月15日(予定)  
借入期間：5年  
担保の有無：なし